

敷地の地質・地質構造に関するコメントと対応方針について

○ 第1049回審査会合（2022年5月20日）でのコメント及び対応方針を下記に示す。

区分	No.	コメント			対応方針	調査期間 (予定)
		開催回	日付	内容		
鉱物脈法 (薄片観察)	126	第1049回	2022.5.20	<p>明確に鉱物脈が最新面を横断する状況が写真では見てとれない下記の箇所について、既存の薄片の詳細観察あるいは新たに作成した薄片等を用いて、より詳細に説明すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・K-2 H-1.1-87孔 範囲B ・K-18 H-0.2-75孔 薄片② ・S-2・S-6 E-8.5-2孔(明確に確認できるデータと評価する場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ・K-2のH-1.1-87孔 範囲Bについては、最新面1付近に分布する粘土鉱物にせん断面や引きずり等の変形がないことを拡大写真等を用いて示し、説明資料を充実させる。また、K-2の別のボーリング孔で採取したコアで作成した薄片の観察を行う。 ・K-18のH-0.2-75孔 薄片②については、最新面の延長位置に認められる割れ目・空隙の部分において、粘土鉱物(I/S混合層)が当該箇所を明確に横断して分布する部分を拡大して示し、説明資料を充実させる。また、同一孔のコアで作成した別の薄片の観察を行う。 ・S-2・S-6のE-8.5-2孔については、同一孔のコアで作成した別の薄片の観察を行い、説明性の向上が図られない場合は、当該孔の薄片を活動性評価に用いるか改めて検討する。 	~7月末
敷地内断層 と活断層との 破碎部性状 の比較	127	第1049回	2022.5.20	<p>薄片観察において、福浦断層のY面の不連続部が敷地内断層の不連続部と異なることや、福浦断層のY面を挟んで粘土鉱物が分布する状況が敷地内断層と異なることについて、改めてデータを示した上で、より詳細に説明すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福浦断層のY面の不連続部について、既存薄片を用いて敷地内断層との違いの説明性の向上を図る。 ・福浦断層の連続するY面を挟んで粘土鉱物が分布する状況について、既存薄片を用いて敷地内断層との違いの説明性の向上を図る。 	
K-3	128	第1049回	2022.5.20	<p>K-3については、他の敷地内断層と見た目や性状が異なることから、含まれる鉱物等の違いの有無等を明らかにした上で、形成環境等の検討結果も踏まえた評価について説明すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・K-3のN-2.3-1孔の薄片でEPMA分析を実施し、破碎部中により高温環境下で生成する変質鉱物がないか、確認を行う。 ・上記の分析結果を踏まえ、他の敷地内断層と露頭・ボーリングコア・薄片での性状等を比較し、形成環境や活動時期について再評価を行う。 	